

重症心不全治療部

1. スタッフ（2022年4月1日現在）

部長（教授）（兼）	相澤 啓
医員（教授）（兼）	川人 宏次
医員（教授）（兼）	新保 昌久
医員（教授）（兼）	今井 靖
医員（教授）（兼）	塩田 勝利
医員（准教授）（兼）	原田 顕治
医員（講師）（兼）	小森 孝洋
医員（講師）（兼）	糊澤 壮樹
医員（助教）（兼）	阿久津博之
医員（病院助教）（兼）	上杉 知資
医員（臨床助教）（兼）	土井 真之
医員（臨床助教）（兼）	堀越 峻平
看護師長（兼）	太田 信子
看護師長（兼）	田邊由美子
主任看護師（兼）	前沢 幸代
主任看護師（兼）	笹井 香織
主任看護師（兼）	飯塚 由佳
看護師（兼）	野口 康子
主任臨床工学技士（兼）	繁在家 亮
臨床工学技士（兼）	鳥越 祐子
臨床工学技士（兼）	関野 敬太
主任管理栄養士（兼）	川畑 奈緒
理学療法士	中川 康宏
薬剤師（兼）	海老沼慶一
薬剤師（兼）	高倉 祐希
臨床心理士（兼）	山本 理栄
患者サポートセンター医療福祉相談室	MSW（兼） 角田 圭佑

2. 重症心不全治療部の特徴

●認定施設

認定植込型補助人工心臓実施施設

Impella補助循環用ポンプカテーテル実施施設

●認定医

植込型補助人工心臓実施医：川人 宏次

植込型補助人工心臓実施医：相澤 啓

3. 診療実績 クリニカルインディケーター

3-1) 補助人工心臓 手術実施症例

症例	診断	デバイス
53歳男性	虚血性心不全	体外型左室補助人工心臓装着
46歳男性	急性心筋梗塞後、心原性ショック	IMPELLA-CP
57歳男性	急性心筋梗塞後、心原性ショック	IMPELLA-CP
77歳男性	急性心筋梗塞後、心原性ショック	IMPELLA-5.0
56歳男性	急性心筋梗塞後、心原性ショック	IMPELLA-CP
66歳男性	急性大動脈解離術後、重症心不全	体外型左室＋右室補助人工心臓装着

3-2) 日本臓器移植ネットワーク移植希望者登録：3名

3-3) 体内植え込み型補助人工心臓患者外来管理：3名

4. 2022年の目標・事業計画等

2021年は新規の植え込み型補助人工心臓の症例はなかったが、急性心筋梗塞後重症心不全の症例に対して体外型左室補助人工心臓、急性大動脈解離術後両心不全の症例に対して体外型左室＋右室補助人工心臓装着を行っている。また2021年から従来のIABP、PCPSのみでは救命が困難と考えられる重症心不全症例に対して、補助循環用ポンプカテーテル（IMPELLA）の導入を開始し、順調に症例を重ねている。重症心不全症例に対する治療選択を広げ、当院の心不全治療をより高度なものに発展させたいと考えている。